

2018 年度事業報告書

事業期間：2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日まで

事業拠点：埼玉県ふじみ野市亀久保 2201

役員：理事 9 名 監事 1 名 理事会：6 回開催 総会：2 回開催

事業担当職員：8 名（常勤 4 名・非常勤 4 名）

公益社団法人として本格的な事業開始年度となった。公益法人として事業を実施していくにあたり、財政状況を安定させると共に、会員と寄付を獲得できるように広報活動並びに企業との連携強化を積極的に行った。また、育成事業においては 2 組の合同訓練を実施し、認定試験に合格させ、聴導犬として送り出した。

1. 聴導犬の普及・啓発に関する事業

(1) 聴導犬の講演及びデモンストレーション

各種イベント 88 件・学校関係 11 件・団体研修 5 件の計 104 件実施

(2) インターネット系普及活動

SNS の投稿回数は Twitter291 回・Facebook16 回、ホームページの更新 20 回の計 327 回

(3) マスコミ関係の取材

NHK 取材及び Yahoo ニュース関係の取材の計 2 件

2. 聴導犬の育成に関する事業

(1) 聴導犬の育成

聴導犬新規希望者 1 名に対し合同訓練を実施し 9 月 10 日に認定された。また、聴導犬の引退に伴う代替えとして合同訓練を実施し 2 月 18 日に認定された。本年度は、計 2 頭の聴導犬を送り出した。

(2) 候補犬の導入

2 頭の候補犬を導入。社会福祉法人日本介助犬協会のキャリアチェンジ犬で、適正評価を行い候補犬として 1 頭導入した。また、埼玉県動物指導センターから雑種の子犬 1 頭を導入した。提携 16 か所に対し、候補犬導入希望を伝え、2 か所 3 回の現場選択を行う。遠方については、3 回のビデオ判定を実施したが、候補犬の導入には至らなかった。

(3) 希望者相談・希望者対応

聴導犬希望者からの相談は 4 件。メールや FAX などでの相談 3 件とイベント会場での相談が 1 件あった。

3. 聴導犬の貸与・再訓練に関する事業

(1) 聴導犬の貸与

継続貸与 3 頭。新規貸与 2 頭。

(2) ユーザーフォロー

昨年度認定 1 頭と今年度認定 2 頭に関して、連絡や訓練フォローを充実させた。

4. 聴導犬訓練士の育成及び認定に関する事業

(1) 高校の授業協力

都内高校ペットコースに対し、カリキュラムを組み聴導犬の訓練に関する授業指導と手話に関する指導を実施。文化祭での発表でデモンストレーションを行う。手話に関しては、手話検定を受験し、受講者が合格できるように指導した。

(2) 研修生

本年度は、対象の研修生が居ないため訓練士の育成は行っていない。

(3) 訓練士の育成

職員の技術や知識向上のため、技術指導 10 回・講習 3 回を職員全員で受講。

5. 一般への引退犬・キャリアチェンジ譲渡事業

(1) 候補犬からの譲渡 1 頭

(2) 引退犬からの譲渡 1 頭

6. オリジナルグッズの製造販売及び委託販売

(1) オリジナルグッズの製造販売

聴導犬の啓発活動及び育成資金の獲得を目的に、オリジナルグッズを製造し、イベント会場やインターネット等で販売した。

(2) 委託販売

聴導犬の啓発活動及び育成資金の獲得を目的に、その趣旨に賛同した個人及び企業と委託販売契約を締結した。

7. その他目的を達成するために必要な事業

(1) 会員獲得

イベント会場等でパンフレットを積極的に配布し、新規会員の獲得を行った

(2) 街頭募金活動の実施

聴導犬の啓発活動と育成資金を獲得するために鉄道会社と連携して年間 18 回の街頭募金活動を行った

(3) 募金箱の設置

年間 101 か所の設置場所を確保し、10 月に回収を行った

(4) 企業提携

聴導犬の啓発活動と育成資金を獲得することを目的に、寄付システム及び募金システムを導入している企業・団体と提携し、寄付金の獲得を行った。

(5) 企業 C S R

企業の C S R 活動への協力を積極的に行い、社内啓発活動や社員の普及活動へ参加してもらい協会の活動に対して支援と協力を得ることができた。

(6) 寄付付き自動販売機

聴導犬の育成資金獲得のため、コカ・コーラ、サントリー、西武商事の 3 社と連携し、全国 13 か所設置。